

放置竹林解決を延岡だけで終わらせない、日本全国クラフトメンマ開発プロジェクト

CRAFT MENMA



THE FIRST CRAFT MEMMA
“NOBEOKA MENMA”
MADE IN NOBEOKA CITY MIYAZAKI

BACKGROUND

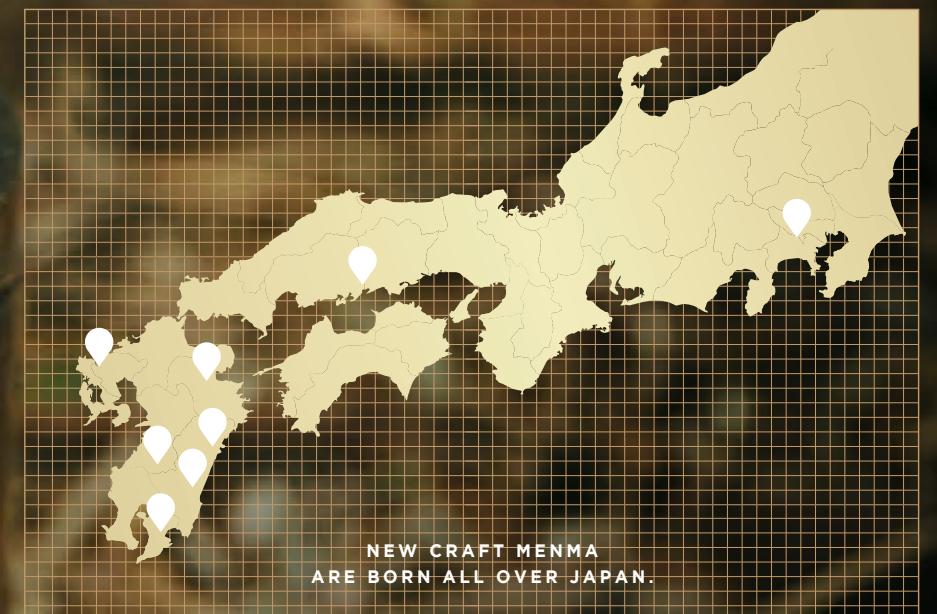
延岡以外にも拡大する放置竹林問題

LOCAL BAMBOO INC. 代表の江原太郎氏は久々に宮崎県延岡市の実家に帰り衝撃を受けた。実家の山林が放置竹林によって荒れ果てていた。竹は最盛期には1日で80cmも成長する。そのため管理をしなければあっという間に森を埋め尽くし、日光を遮り他の木々の成長を止めてしまう。また獣害や土砂崩れの原因にもなる。そのため江原氏は放置竹林を使ったメンマ「延岡メンマ」を開発することを決意。食べることで放置竹林解決を行なった。が「放置竹林問題」は延岡だけの問題ではなく、竹林需要の減少や山の管理の後継者不足により日本全国に広がっていた。

SOLUTION

日本全国での「森を育てるメンマ」の開発

「延岡メンマ」の知見を活かし、日本全国の放置竹林をメンマにして解決することを目指した。放置竹林で悩む全国8地域の事業者と“ご当地クラフトメンマ”の開発を開始。現在までに「尾道タケタケ」「伊万里ミライ」「多良木メンマ」「BEPPU CRAFT MENMA」を実現。また東京都町田市、鹿児島県枕崎市ともメンマ開発を進めている。食べることで放置竹林解決を日本全国に広げ、これまでに消費されたメンマの量は26トン(テニスコート93面に相当)におよんでいる。



NEW CRAFT MENMA
ARE BORN ALL OVER JAPAN.

全国8地域でクラフトメンマ開発中
宮崎県延岡市、宮崎県小林市、大分県別府市、広島県尾道市、佐賀県伊万里市、熊本県多良木町、東京都町田市鹿児島県枕崎市